

接合科学カフェ 第1回「接合って何？－JとWとRとI－」の開催

水谷 正海

技術部 副部長(兼 接合科学カフェ カフェマスターJr.)

平成 29 年 11 月 30 日 (木) にアートエリア B1 (京阪電車中之島線『なにわ橋駅』地下 1 階コンコース) にて第 1 回接合科学カフェが開催されました。溶接に代表される接合技術は、伝統的で馴染みの深い技術でありながら、日常の<あたりまえ>の生活中に潜んでしまい、<火花(スパッタ)、煙(ヒューム)、閃光(放射光)>といったダークなイメージだけが表に残された絶滅危惧種ながらの技術になっています。しかしながら、この接合技術を深く掘り下げてしっかり見つめてみると、社会を根底で支える力強い技術であると同時に、人、モノ、世界、そして現代と未来をつなぎ合わせる可能性に満ちた技術であることに気がきます。日常生活の中に隠れていた数々の『接合』に表舞台へ登場していただき、市民の皆さんにその活躍ぶりをご紹介する交流の場として、大阪大学 21 世紀懐徳堂の協力を得て、本カフェを企画しました。

第 1 回は「接合って何？」というタイトルで、接合科学へのプロローグとなります。カフェマスターの伊藤教授の司会進行のもと、ゲストスピーカーの田中副所長が数々の動画をうまく使いながら日常生活の中に隠れていた『接合』たちを登場させ、それぞれの役割と、実は複雑で<未知>に溢れる科学の領域であることをわかりやすく紹介し

ました。一方で、それぞれの『接合』たちが解決すべき将来の課題を抱えていることもあぶり出され、そのための<接合科学>であり、それを推進する接合科学研究所であることが紹介されました。

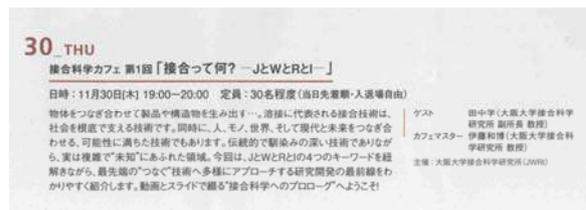
地下 1 階の駅コンコースにあるオープンな会場では、当初予定の 30 席では足りず、再々席を追加するほどのご来場をいただき、最終的には 50 名ほどの参加を頂戴しました。

参加者の方々からは『接合』の本質に迫るような質問や、未来の夢の『接合』を描くような質問など、数多くの質問をいただきました。『接合』がもはやダークな技術ではなく、最先端の<つなぐ>技術に変貌を遂げた瞬間であったように感じました。

この度の接合科学カフェという交流の場を通じて、ものをつなぐ(Joining)、世界をつなぐ(World)、人をつなぐ(Resource)、未来をつなぐ(Innovation)という、安全で安心な社会を支える接合技術であることを市民の皆さんに認識していただける絶好の機会になったものと思います。ご参加いただきました皆さまに、心よりお礼申し上げます。第 2 回「こんなところにも？－身近な製品と接合－」(平成 30 年 1 月 23 日予定)、第 3 回「錬金術師？－金属コーティングの極意－」(平成 30 年 3 月予定) も是非ご参加いただければと思います。



接合科学カフェの会場アートエリア B1



接合科学カフェ案内



カフェマスター伊藤教授



ゲストスピーカー田中副所長



プレゼンテーション風景